



## 第28回日本消化器関連学会週間

# Japan Digestive Disease Week 2020 (JDDW 2020)

JDDW 2020 は、2020年11月5日(木)～8日(日)の4日間、神戸市(神戸コンベンションセンター)において開催されます。

第28回日本消化器関連学会週間には、第62回日本消化器病学会大会、第100回日本消化器内視鏡学会総会、第24回日本肝臓学会大会、第18回日本消化器外科学会大会、第58回日本消化器がん検診学会大会が参加となります。

演題募集はホームページでの応募となります。詳細は、JDDW 2020ホームページまたは各学会誌に掲載されます演題応募規定をご覧ください。

◇会 期：2020年11月5日(木)～8日(日) ※4日目は教育講演のみ

◇場 所：神戸コンベンションセンター

第62回 日本消化器病学会大会  
会長 窪田 敬一 (獨協医科大学 第2外科)

第100回 日本消化器内視鏡学会総会  
会長 河合 隆 (東京医科大学 消化器内視鏡学)

第24回 日本肝臓学会大会  
会長 竹井 謙之 (三重大学大学院 消化器内科学)

第18回 日本消化器外科学会大会  
会長 小澤 壯治 (東海大学 消化器外科)

第58回 日本消化器がん検診学会大会  
会長 入口 陽介 (東京都がん検診センター)

## JDDW 2020

### 演題応募要項 (全学会共通版)

JDDW 2020では主題演題および一般演題を下記の要領で公募いたします。応募要項を熟読の上、奮ってご応募下さい。

○**応募方法**：JDDW 2020ホームページ (<https://www.jddw.jp/> 『JDDW 2020 KOBE』より) を用いたオンライン登録による応募のみとなります。

**募集期間**：2020年2月3日(月)正午～3月24日(火)正午 ※火曜~~は~~切です

ネットワークやサーバーのトラブル発生時の対応に備え、応募期限を平日の日中としております。ただし、ホームページ利用者のコンピュータ環境が原因で演題の登録に不備をきたした場合には、事務局では一切責任を負いかねます。また、応募者の公平を期すため、締切をのばしたり、別の書式・方式で再登録することは認められません。

**3月24日(火)の正午を過ぎると、サーバーでの受付が自動的に終了いたしますのでご注意ください。**締切数日前より、アクセスが集中し回線が混雑するため、演題登録に支障をきたすことも予想されます。締切直前を避けなるべく早目に登録していただくことをお勧めします。

ホームページでご応募いただいた演題は締切までは訂正可能です。なお、全発表演題のCopyrightはJDDW参加学会に帰属します。あらかじめご了承下さい。

○**演題応募時には会員番号(筆頭演者)の入力が必要になります(演題応募時に入会手続きが完了していない場合は、画面の手順に従い仮の会員番号を入力して下さい)。**

会員番号に関するお問い合わせは、各学会事務局までお願いいたします(各学会の問い合わせ先は、ホームページをご確認下さい)。

**※以下の規定は、肝臓学会および消化器外科学会を業績とする場合のみ対象となります。**

#### 肝臓学会の皆さまへ

- ①現在会員でない方は、演題登録までに入会を完了して下さい。手続きが完了していない場合は、演題を取り消しとします。
- ②肝臓学会を「発表実績」とした場合の演題応募は、共同演者についても会員番号が必要になりますのでご注意ください(肝臓学会以外は、この規定に含まれません)。

#### 消化器外科学会の皆さまへ

- ①現在会員でない方は、演題登録時までに入会申請を行って下さい。手続きが完了していない場合は、演題を取り消しとします(ただし、入会申請中であっても演題登録は可能です)。
- ②消化器外科学会を「発表実績」とした場合の演題応募は、主題演題(他学会との合同セッションも含める)と一般演題を合わせ、「筆頭演者1人につき1題まで」に限ります。2題以上応募された場合は、全ての演題が取り消しとなりますのでご注意ください。(他学会への応募演題はこの規定に含まれません)

---

### ○主題演題プログラムの定義について

JDDWでは、プログラムの在り方を検討してきた結果、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップについては、これらの区別を明確にし、質の高い学術プログラムを目指すことになり、下記の方針で演題応募を行うことにいたしました。

- ・シンポジウム（ビデオも含む）〈発表時間：15分以上〉  
シンポジウムはある程度完成され、すでに認められている業績を持つ演者がその業績をさらに発展させた講演です。
- ・パネルディスカッション 〈発表時間：12分以上〉  
パネルディスカッションは演者が一つの問題について全員で集中的に討議を戦わせるセッションとして位置づけられています。パネリストは登壇して総合討論（30分以上）を行います。
- ・ワークショップ 〈発表時間：8分以上〉  
ワークショップは完成した研究成果より、むしろ未完成の進行中の研究をとりあげるセッションです。

---

### ○肝臓学会の主題プログラムについて

肝臓学会の主題演題については、海外演者の参加等、状況により英語で発表をお願いすることがあります。

---

### ○International Sessionについて

- ・消化器外科学会の2020のシンポジウムは、全てInternational Sessionとなります。
- ・消化器内視鏡学会主催のInternational Session（IS-S9、IS-S10）に採用された全ての演題は、消化器内視鏡学会英文誌「Digestive Endoscopy」にて抄録を掲載する予定でございます。予めご了承下さい。

---

### ○JDDWにおけるAwardについて

JDDWでは採用演題のうち、優れた演題を応募された方・発表された方（採否通知メール以降の演者変更および代理発表は対象外）を対象に、以下のAwardを設けます。選考はJDDW運営委員会にて行います。

- ・The Best Presenter Award in International Session  
International Sessionで、当日優れた発表を行った方に賞金5万円を贈呈いたします（主題演題・一般演題いずれも対象）。国籍・年齢に関する規定はありません。受賞者は学会発表後に決定し、ホームページにて掲載いたします。
- ・若手奨励賞  
日本人および日本国内に在住の若手医師（学会初日時点で40歳以下・医師免許所持の方）で、優れた演題を応募された方に賞金5万円を贈呈いたします（主題演題・一般演題いずれも対象）。受賞者は7月送信の採否通知メールにて発表し、プログラムに掲載いたします。
- ・ポスター優秀演題賞  
一般演題（デジタルポスターセッション）で優れた演題を応募された方に、記念品を贈呈いたします。国籍・年齢に関する規定はありません。受賞者は7月送信の採否通知メールにて発表し、プログラムに掲載いたします。

・会長賞

ポスター優秀演題賞の中から各学会1名ずつ、最も優れた演題を応募された方に、賞金7万円を贈呈いたします。また各学会の招待者として、参加登録費、宿泊1泊、拡大プログラム委員会へのご招待をさせていただきます。当日は、ポスターセッションでの発表以外に、講演会場でも別途発表を行っていただきます。受賞者は7月送信の採否通知メールにて発表し、プログラムに掲載いたします。

※詳細は、JDDW 2020ホームページ「演題応募」にてご確認ください。なお、海外在住で日本国籍以外の若手医師については、Travel Award Program, Travel Grantを設けております。

## I. 公募主題演題について

1. 統合プログラム、特別企画、International Session、シンポジウム、パネルディスカッション、ワークショップ等の公募演題についての採否は、それぞれの主題の司会者と協議の上決定します。
2. 統合プログラムと合同セッションについては、ご自身でお選びいただいた1つの学会の実績となります。演題応募時にプルダウンメニューより選択して下さい。
3. 例年主題において、同時間帯のセッションに応募され、ダブルブッキングするケースがあります。応募の際は、ホームページの「日程表」にて開催日時をご確認の上、ご登録下さい。
4. 主題については、幅広く演題を募集する主旨から、同じセッションに同一所属から複数の応募者が筆頭演者として応募することはできません（筆頭演者が別の所属であれば、共同演者として応募することは可能です）。
5. 「主題演題」では筆頭演者を含めて合計3名まで演者を登録することができます。

## II. 一般演題について

1. 一般演題はデジタルポスターでの発表となります。
2. 一般演題の採否は応募された各学会のプログラム委員、演題選定委員により査読・協議を経た上、決定されます。
3. 演題の発表形式は学会によって異なります。
4. 「一般演題」では筆頭演者を含めて合計20名まで演者を登録することができます。
5. 英文で登録された演題は、International Poster Session（英語での発表）として編成に組み込まれます。

## III. 演題申し込みに関する注意事項

### 1. 演題申し込みの方法

ホームページでの申し込みとなります。

International Sessionは、【English】ページの“Abstract Submission”からの申し込みとなります。日本語のセッションは、【Japanese】ページの「演題応募」からの申し込みとなります。詳しくはホームページの各コンテンツをご確認下さい。

### 2. 応募カテゴリー

- 1) 応募には3種類のカテゴリーがあります。

JDDWの演題応募には下記の3種類のカテゴリーがあります。いずれかを選び、お申し込み下さい。

- ① 一般演題のみに応募
- ② 主題演題のみに応募
- ③ 同時応募 (主題で不採用となった場合には、一般演題の審査にまわる)

## 2) 一般演題のみに応募

登録画面の「一般演題」から、登録して下さい。

区分欄において該当する記号および番号を必ず選択して下さい。区分Ⅰは発表を希望する学会(1項目)、区分Ⅱは臓器別(1項目)、区分Ⅲは細目(1項目)を選んで下さい。

[1] 区分Ⅰ：発表を希望する学会 (ただし学会員であることが必要です)

A 消化器病学会 B 消化器内視鏡学会 C 肝臓学会 D 消化器外科学会  
E 消化器がん検診学会

[2] 区分Ⅱ：臓器(1項目)

①食道・咽頭, ②胃, ③十二指腸, ④小腸, ⑤大腸, ⑥肝臓, ⑦胆道, ⑧膵臓, ⑨その他

[3] 区分Ⅲ：重要な項目を1項目下記の表から選択して下さい。

### ◆JDDW 2020における一般演題応募の症例報告の扱いについて

JDDW 2020では、会場・時間等の制約のため、一般演題での症例報告の取り扱いについて以下のように規定します。(※消化器外科は適用せず)

1. 症例報告についてはその採択優先度を下げ、他の研究発表演題とは別枠にて審査します。
2. 学会によっては原則として1例報告の採択を行わないため、1例報告での応募をなるべく避けて下さい。
3. 従って応募に際しては、1例報告の応募を原則として避け、主に複数のまとまった症例につき報告下さい。
4. また場合により対照群を設定していない少数例の臨床研究は、症例報告として取扱う場合があります。

学会	細目 (学会毎に異なりますので発表を希望する学会から選んで下さい)
消化器病 学会	<b>食道・咽頭</b> 1.基礎 2.検査・診断 3.良性疾患(機能性疾患含む) 4.悪性腫瘍 5.内視鏡治療 6.手術 7.化学療法 8.放射線治療 9.症例報告 10.その他
	<b>胃・十二指腸</b> 11.基礎 12.検査・診断 13.機能性疾患(FDなど) 14. <i>H.pylori</i> 15.NSAIDs 16.良性疾患(炎症・潰瘍・ポリープ・血管病変など) 17.粘膜下腫瘍 18.リンパ腫 19.腺腫・癌(その他の悪性腫瘍を含む) 20.乳頭部病変 21.内視鏡治療 22.手術 23.その他の治療(化学療法などを含む) 24.症例報告 25.その他
	<b>小腸</b> 26.基礎 27.検査・診断 28.炎症性腸疾患 29.良性疾患(機能性疾患含む) 30.腫瘍 31.治療 32.症例報告 33.その他
	<b>大腸</b> 34.基礎 35.検査・診断 36.機能性疾患(IBSなど) 37.クローン病 38.潰瘍性大腸炎 39.良性疾患(炎症・潰瘍・憩室・血管病変など) 40.癌以外の腫瘍性疾患(ポリープなど) 41.癌(その他の悪性腫瘍含む) 42.内視鏡治療 43.手術 44.その他の治療(化学療法など) 45.症例報告 46.その他

<p>消化器病 学会</p>	<p><b>肝臓</b> 47.基礎 48.検査・診断(画像) 49.B型肝炎 50.C型肝炎 51.他のウイルス性肝炎 52.NASH/NAFLD 53.アルコール性肝障害 54.自己免疫性肝疾患 55.薬物性肝障害 56.門脈圧亢進症 57.肝不全 58.代謝性疾患 59.原発性肝腫瘍 60.転移性肝腫瘍 61.肝再生 62.移植 63.治療 64.症例報告 65.その他</p> <p><b>胆道</b> 66.基礎 67.検査・診断 68.良性疾患(機能性疾患含む) 69.悪性腫瘍 70.内視鏡治療 71.手術 72.その他の治療(化学療法, 放射線治療などを含む) 73.症例報告 74.その他</p> <p><b>膵臓</b> 75.基礎 76.検査・診断 77.急性膵炎 78.慢性膵炎(AIP以外) 79.自己免疫性膵炎 80.膵嚢胞性腫瘍 81.癌 82.その他の悪性腫瘍(内分泌腫瘍など) 83.内視鏡治療 84.手術 85.その他の治療(化学療法, 放射線治療などを含む) 86.症例報告 87.その他</p> <p><b>その他</b> 88.腹膜 89.スクリーニング・検診 90.リスクマネージメント 91.肥満(基礎や治療などを含む) 92.周術期管理(内視鏡治療, 手術, その他interventionにおける) 93.在宅医療 94.緩和医療 95.代謝・栄養 96.症例報告 97.その他</p>
<p>消化器 内視鏡 学会</p>	<p><b>食道・咽頭</b> 98.GERD 99.炎症性疾患 100.静脈瘤・門脈圧亢進症 101.食道良性腫瘍 102.食道悪性腫瘍 103.咽頭癌 104.スクリーニング・検診 105.EUS・FNA 106.拡大内視鏡 107.IEE 108.EMR・ESD(咽頭癌を含む) 109.拡張術・ステント 110.止血・硬化療法 111.化学療法・放射線治療(光線治療) 112.POEM 113.PDT 114.内視鏡下手術 115.その他の治療 116.症例 117.病態生理・病理 118.その他</p> <p><b>胃</b> 119.炎症・潰瘍 120.消化管出血 121.<i>H.pylori</i> 122.NSAIDs 123.胃癌 124.胃良性腫瘍 125.胃悪性腫瘍 126.GIST 127.リンパ腫 128.NET・カルチノイド 129.ポリポーシス 130.拡大内視鏡 131.IEE 132.経鼻内視鏡 133.スクリーニング・検診 134.EUS・FNA 135.EMR・ESD 136.PEG 137.LECS 138.化学療法 139.内視鏡下手術 140.その他の治療 141.症例 142.病態生理・病理 143.その他</p> <p><b>十二指腸</b> 乳頭部以外:(144.潰瘍 145.炎症 146.消化管出血 147.上皮性腫瘍(癌, 腺腫) 148.良性腫瘍 149.悪性腫瘍 150.リンパ腫 151.NET・カルチノイド 152.ポリポーシス 153.狭窄治療 154.EMR・ESD 155.症例 156.病態生理・病理 157.その他) 乳頭部:(158.炎症 159.良性腫瘍 160.悪性腫瘍 161.症例 162.病態生理・病理 163.その他)</p> <p><b>小腸</b> 164.IBD(炎症性腸疾患) 165.消化管出血 166.腫瘍 167.ポリポーシス 168.NSAIDs小腸病変 169.カプセル内視鏡(VCE) 170.バルーン内視鏡(SBE, DBE) 171.内視鏡治療 172.その他の炎症性小腸疾患 173.症例 174.病態生理・病理 175.その他</p> <p><b>大腸</b> 176.大腸癌 177.大腸腺腫 178.リンパ腫 179.GIST 180.NET・カルチノイド 181.粘膜下腫瘍 182.その他腫瘍 183.ポリポーシス 184.クローン病 185.潰瘍性大腸炎 186.感染性腸炎 187.その他の腸炎 188.消化管出血 189.IEE 190.拡大内視鏡 191.ポリペクトミー・EMR・ESD 192.スクリーニング・検診 193.挿入法 194.カプセル内視鏡(VCE) 195.化学療法 196.内視鏡下手術 197.その他の内視鏡治療 198.症例 199.病態生理・病理 200.その他</p>

消化器 内視鏡 学会	<p><b>肝臓</b> 201.診断 202.治療 203.症例 204.病態生理・病理 205.その他</p> <p><b>胆道</b> 胆嚢：(206.炎症 207.結石 208.良性腫瘍 209.悪性腫瘍 210.EUS・FNA 211.化学療法・放射線治療 212.内視鏡下治療 213.その他の治療 214.診断 215.胆道関連手技 216.症例 217.病態生理・病理 218.その他)</p> <p>胆管：(219.炎症 220.結石 221.良性腫瘍 222.悪性腫瘍 223.EUS・FNA 224.化学療法・放射線治療 225.内視鏡下治療 226.その他の治療 227.診断 228.胆道関連手技 229.症例 230.病態生理・病理 231.その他)</p> <p><b>膵臓</b> 232.炎症 233.結石 234.良性腫瘍 235.悪性腫瘍 236.EUS・FNA 237.化学療法・放射線治療 238.内視鏡下治療 239.その他の治療 240.診断 241.膵臓関連手技 242.症例 243.病態生理・病理 244.その他</p> <p><b>その他</b> 245.スクリーニング・検診 246.教育・トレーニング 247.偶発症・リスクマネージメント 248.記録・ファイリング 249.症例 250.検査 251.治療 252.内視鏡機器・処置具 253.鎮静 254.抗血栓薬 255.その他</p>
肝臓 学会	<p><b>B型肝炎</b> 256.基礎 257.病態・診断 258.治療 259.再活性化 260.その他</p> <p><b>C型肝炎</b> 261.基礎 262.病態・診断 263.治療 264.治療後予後 265.その他</p> <p><b>原発性肝癌</b> 266.発癌・癌幹細胞 267.診断 268.局所治療 269.外科切除・肝移植 270.薬物療法</p> <p>271.その他のウイルス性肝炎 272.NAFLD・NASH 273.アルコール性肝障害 274.薬物性肝障害 275.胆汁酸 276.金属代謝異常 277.自己免疫性肝疾患 278.小児肝疾患 279.肝循環・門脈圧亢進症 280.肝線維化 281.肝硬変 282.肝不全 283.その他の肝腫瘍・肝占拠性病変 284.肝再生・肝移植 285.肝免疫 286.肝類洞壁細胞・幹細胞 287.臓器相関 288.生化学・代謝・分子生物学 289.画像診断 290.肝病理 291.疫学 292.診療連携・パス・拠点病院 293.症例報告 294.その他</p>
消化器 外科学会	<p>295.画像診断(良性) 296.画像診断(悪性) 297.悪性度診断 298.臨床病理診断 299.遺伝子診断 300.診断(その他・良性) 301.診断(その他・悪性) 302.手術治療(良性) 303.手術治療(悪性) 304.内視鏡下手術(良性) 305.内視鏡下手術(悪性) 306.ロボット支援手術 307.ナビゲーション 308.AI 309.補助化学療法 310.化学療法・免疫療法 311.集学的治療 312.漢方療法 313.治療(その他・放射線を含む) 314.炎症性疾患 315.虚血性疾患 316.悪性腫瘍(再発・転移) 317.外傷 318.周術期管理 319.SSI 320.術後合併症 321.再建臓器機能, 再生 322.移植 323.代謝・栄養 324.緩和 325.ヘルニア 326.ガイドライン 327.分子生物・生化 328.免疫・内分泌 329.その他(研究) 330.その他(臨床) 331.症例報告(良性) 332.症例報告(悪性)</p>
消化器 がん検診 学会	<p><b>検査法・精検法</b> 333.胃X線検査 334.胃内視鏡検査 335.ヘリコバクターピロリ抗体検査 336.ペプシノゲン検査 337.胃がんリスク層別化検査 338.便潜血検査 339.大腸内視鏡検査 340.大腸CT検査 341.カプセル内視鏡検査 342.超音波検査 343.腹部CT検査 344.PET検査 345.遺伝子マーカー検査 346.腫瘍マーカー検査 347.その他</p> <p><b>有効性評価</b> 348.偽陰性・偽陽性 349.感度・特異度 350.科学的根拠 351.エンドポイント 352.罹患率・死亡率 353.生存率 354.ガイドライン 355.RCT 356.コホート研究 357.症例対照研究 358.その他</p>

消化器  
がん検診  
学会

- 精度管理** 359.検診体制 360.撮影法 361.観察法・観察時間 362.プロセス指標  
363.アウトカム指標 364.チェックリスト 365.がん登録 366.その他
- 対策** 367.検診受診率 368.要精検率 369.精検受診率・精検未把握率 370.がん発見率・  
腺腫発見率 371.偶発症 372.不利益 373.費用対効果 374.対象年齢 375.検診間隔  
376.処理能力 377.受診勧奨 378.検査手技習得 379.その他
- 医師以外の立場から** 380.保健師・看護師 381.臨床放射線技師 382.超音波検査士  
383.臨床検査技師 384.その他

3) 主題演題のみに応募

登録画面の「主題演題」から、登録して下さい。希望する主題を選んで下さい（主題番号はJDDW全体の通し番号となっています）。

4) 同時応募（主題で不採用となった場合には、一般演題の審査にまわる）

同時応募（主題に応募し、不採用となった場合は、一般演題の応募とする）の方は、「同時応募」から登録して下さい。一般用と主題用との演題をそれぞれ入力していただくことになります。登録番号も一般演題登録と主題演題登録の2つの登録番号が発行されますので、管理にはご注意ください。

3. チェックリスト

演題申し込みチェックリスト【応募者保存用】

1. 発表内容について

発表内容は下記のすべての項目に該当することが必須となります。枠内の内容を確認のうえ、チェックボックスにチェックを入れて下さい。

1. 本学会および他の国内学会でも未発表の演題です。
2. JDDWの学会で、同一および類似の内容の演題を2題以上応募していません。  
※同一および類似と思われる演題が発見された場合は、査読委員および各学会のプログラム委員会での検証・審議を経た上で、JDDW合同プログラム委員会で最終判断を行います。同一および類似演題と判定された演題は、両演題とも不採用となりますのでご注意ください（応募画面に例がありますのでご確認ください）。
3. 特定情報に関して、下記のいずれも演題名・本文中に記載していません。  
特定の日付（入退院日・治療開始日等）／演題応募者や共同研究者等の個人名・所属機関名・企業名（倫理審査委員会名の特定掲載は可）／応募者が特定される文献名／謝辞等  
※応募画面に具体例がありますのでご確認ください。  
※研究グループ名を記載する必要がある場合は、共同施設名として登録して下さい。

発表内容は上記1～3のすべての項目に該当しています。



## 2. 倫理審査の要／不要について

JDDWでは、文部科学省、厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」ならびに「臨床研究法」をはじめとする、臨床研究に関連する規制に基づき、研究実施に関する倫理審査委員会等の審査状況について確認を行います。発表内容について、設問1～2で該当する項目をそれぞれひとつご選択下さい。

※JDDW 2020の演題応募に際しては、倫理審査が不要な発表以外は、必ず所属施設または関連の大学病院・関連学会（学会に研究倫理審査機能がある場合）・医師会等の倫理審査制度を利用し承認を得たうえで演題登録を行って下さい。

※本チェックリストは応募者に臨床研究を行う上で、順守すべき倫理指針を再認識していただくことを目的としています。選択された内容について、査読委員から異議があった演題は、各学会プログラム委員会で検証を行い、倫理的に問題があると判定された場合は、不採用となりますのでご注意ください。

※発表内容がどの項目に該当するかについては、応募画面にリンクされているフローチャート、Q&A、JDDW倫理指針をご確認下さい。

### ◆設問1：研究内容について（いずれかひとつの項目にチェック）

- A：以下に当てはまる研究（当てはまる場合はいずれかにチェック：複数回答可）。
- 動物実験や一般に入手可能な細胞（iPS細胞、組織幹細胞を含む）を用いた基礎的研究。
  - 9例以下をまとめた研究性のない症例報告。
  - 法令に基づく研究（臨床研究法、再生医療等安全性確保法は除く）。
  - 既に学術的な価値が定まり、研究用として広く利用され、かつ、一般に入手可能な試料・情報を用いた研究。
  - 既に匿名化されている試料・情報（特定の個人を識別できない状態に加工され、自他問わず対応表がどこにも存在しないもの）を用いた研究。但し、体細胞由来のゲノムデータ解析は除く。
  - 既に作成されている匿名加工情報または非識別加工情報を用いた研究。
  - 論文や公開されているデータベース、ガイドラインのみを用いた研究。
  - 健康の保持増進に資する知識を得ること、または、傷病の予防・診断・治療に資する知識を得ることを目的としない研究※。
    - ※（例）：①受診率向上に向けた取り組みに関する研究、②医師の技術向上や教育に関する研究
  - 海外で実施された研究（研究対象となった試料・情報が日本のものは除く）。但し、実施した国の規定は遵守していることが必要。
  - 人体から分離した細菌、カビ、ウイルス等の微生物の分析等を行うのみで、人の健康に関する事象を研究の対象としない研究。
- B1：・既存の試料・情報を用いる観察研究。  
通常診療の情報や診療で採取された生体試料の余剰分を用いるもの等、通常の診療行為（判断）に何ら影響を与えることが無ければ、前向き後ろ向きを問わない。

- ・研究目的で新たに情報のみを取得する観察研究であって、侵襲を伴わない研究。心電図、体表US検査、心的侵襲のないアンケートを実施するものが含まれる。
- B2 : ・研究目的で新たに情報を取得する際に侵襲または軽微な侵襲を伴う観察研究。通常の診療行為(判断)に何ら影響を与えないが、研究目的にX線撮影、CT等を実施する研究が含まれる。
- ・研究目的で新たに情報に加えて試料を取得する観察研究。通常の診療行為(判断)に何ら影響を与えないが、研究目的にCT、採血(通常診療に加えて量を追加する場合も含む)、組織採取等を追加する侵襲あるいは軽微な侵襲を伴うものと、排泄物の採取など侵襲を伴わないものがある。
- C : 「臨床研究法」の適用されない介入研究。  
体外診断薬を用いた介入研究、医療手技や手術方法の評価を行う研究が含まれる。
- D1 : 特定臨床研究以外の臨床研究(「臨床研究法」の遵守努力義務の対象となる研究)。  
既承認の医薬品・医療機器等を用いてそれらの有効性・安全性を評価する介入研究で、関連する企業から資金提供が無い研究が該当する。
- D2 : 特定臨床研究(「臨床研究法」の遵守義務の対象となる研究)。  
未承認・適応外の医薬品・医療機器等を用いる研究、または企業から資金提供を受ける介入研究が該当する。
- E : 以下に当てはまる研究。
  - ・再生医療等安全性確保法に該当する研究。
  - ・ヒトの遺伝子治療に関する研究。

◆設問2 : 設問1でB1, B2, C, D1, D2, Eにチェックをされた研究は、各研究が適用される規制に基づく委員会の審査が必要となります。  
審査を受けていない場合は応募できませんので、各研究に必要な審査については以下のサイトをご確認下さい(応募画面にリンクがあります)。

**【JDDW 2020 倫理指針】**

**3. JDDW 発表における倫理指針(カテゴリー分類)**

**倫理指針から見た研究の種類と必要な手続き**

**4. よくあるご質問(Q&A)**

- 必要な審査を受け、承認を得ている。

※上記の倫理に関する内容は、今後国の法律・法令・指針変更に伴い改定を行う可能性があります(2019年11月現在)。

**3. 利益相反について(いずれかひとつの項目にチェック)**

(注意) ①演題発表時に開示する利益相反のスライドを無断で撮影される等の事象があるため、発表演題の内容に沿った正しい情報を開示下さい。

②筆頭演者のみならず、共同演者に利益相反がある場合も含めて申告下さい。

- 無  
 有

(「利益相反の内容が不明な場合」は、応募画面をご確認下さい。)

※発表演題に関する利益相反状態について、開示する項目の有無をお答え下さい。

※開示基準は発表希望学会のホームページを参照して下さい(応募画面にリンクがあります)。

※演題の続報について:続報の場合は、抄録中に、今回の発表との関連や違いを明確に示して下さい。

演題登録の際には、下記にご注意下さい。

- ① 発行された登録番号と、ご自身で決めたパスワードは自己責任において管理下さい。
- ② 締切後の変更・取り消しについては、応募時送信された登録完了通知をご用意の上、E-mailまたはお電話にて事務局にご確認下さい。なお、締切後については、演者名・所属名の変更のみ受け付けます。抄録内容(タイトル・本文)については受け付けることができませんので、ご了承下さい。
- ③ 8月7日以降の一切の変更(演題内容の変更や演題取り消し)は受け付けることができませんので、ご了承下さい。
- ④ 発表時における応募時からの内容変更について:応募時から追加・修正した内容を発表しないようお願いいたします。

採否通知後の演題取り消しおよび、発表当日に無断欠席される場合は各学会でペナルティの対象となる可能性があります。ご注意下さい。

#### ◇採否および日程通知と今後の情報

##### 1. 採否通知メール

採否および日程(発表日時、会場等)は7月下旬にE-mailで、演題応募の時に登録いただいたアドレスに送信します(7月上旬にテストメールを送信します。未着の場合は事務局にご連絡下さい)。

##### 2. ホームページの更新内容にご注意下さい

今後、上記内容に対しまして変更等が発生した場合は、ホームページでご案内いたします。定期的にホームページの更新内容にご注意をお願いいたします。

#### ◇教育講演について

JDDW 2020の教育講演では、お弁当の事前申し込みを行います。

学会4日目(11月8日(日))は、教育講演のみの開催となるため、ご希望の方にお弁当(昼食)の配布を行います。

- ・お弁当は事前申し込み制(無料)となります。9月1日(火)~9月30日(水)の間、ホームページで受付を行います。
- ・教育講演の受講自体の事前登録はございません。また、お弁当の事前申し込みをされない方も、教育講演の受講は可能です(十分な席数を用意しておりますので、参加者多数による入場制限はござ

いません)。

◇ホームページおよび、電子抄録アプリによるJDDW 2020の学会情報の公開

JDDW 2020においては、学会開催前より、ホームページを通してJDDW 2020参加全学会のプログラムならびに全抄録、最新の学会情報、開催地および近郊ガイド等の情報を公開します。URLアドレスは <https://www.jddw.jp/> 『JDDW 2020 KOBE』です。学会の詳細はホームページにて順次ご案内する予定です(抄録は2020年9月上旬公開予定)。

また、iPhoneやAndroid等に対応した電子抄録アプリ「JDDW」を公開します(利用期間:2020年10月1日から11月末まで)。高度な検索機能を使って会期中の行動予定表を組み立てることができます。会期中は最新のお知らせ等を配信しますので、是非ダウンロードの上、ご利用下さい。詳細はホームページにてご確認下さい。

★アプリからの共催セミナー予約(開催日の7:30-11:00までは当日分、13:45-17:30は翌日分の一部が予約可能です。通常の会場での発券も行います)。

アプリでは、共催セミナーの当日予約ができます。アプリからの予約には参加証(ネームカード)のQRコードが必要になります。

抄録閲覧にはパスワードの入力が必要となります。パスワードは「JDDW Information」のページをご確認下さい。

◇JDDW 2020に関する問い合わせ先◇

〒105-0004 東京都港区新橋2-6-2 新橋アイマークビル6F

JDDW 事務局 TEL: 03-6550-8751 / FAX: 03-6550-8752

E-mail: kobe2020@jddw.jp (学会に関する内容)

E-mail: endai-jddw2020@convention.co.jp (演題に関する内容)



## Information

JDDWのホームページ (<https://www.jddw.jp>)

### ●JDDW WEB配信 (VIDEO ARCHIVE) のご案内 (WEB閲覧期間 開催後3年)

JDDWでは、教育講演の内容を、JDDW公式ホームページにて公開しております。教育診療機関等における生涯教育や研修の教材にお役立ていただき、わが国における消化器診療の一助となれば幸いです。なお、VIDEO ARCHIVEの閲覧には下記IDおよびパスワードの入力が必要となります。

### ●抄録閲覧について

JDDWでは、大学病院医療情報ネットワーク (UMIN) との強力なリンクにより、学会関係の情報や、過去1999年以降の日本消化器関連学会週間の抄録全ての検索が可能です。なお、抄録閲覧には下記IDおよびパスワードの入力が必要となります。

《WEB配信および抄録閲覧認証》 ID：●●●● パスワード：●●●●

※JDDW事務局では、IDおよびパスワードについて電話・メールでのお問い合わせにはお答えできません。何卒ご了承くださいますようお願いいたします。

【News】 (※ホームページ・会告で順次情報を公開致します)

#### ★JDDW 2021

会期：2021年11月4日(木)～7日(日)

場所：神戸、会場：神戸コンベンションセンター

第63回日本消化器病学会大会 会長 竹原 徹郎 (大阪大学大学院 消化器内科学)

第102回日本消化器内視鏡学会総会 会長 山本 博徳 (自治医科大学 内科学講座)

第25回日本肝臓学会大会 会長 飯島 尋子 (兵庫医科大学 肝胆膵内科・超音波センター)

第19回日本消化器外科学会大会 会長 猪股 雅史 (大分大学 消化器・小児外科学講座)

第59回日本消化器がん検診学会大会 会長 濱島ちさと (帝京大学 医療技術学部看護学科保健医療政策学分野)

#### ★JDDW 2022

会期：2022年10月27日(木)～30日(日)

場所：福岡、会場：福岡国際センター・福岡サンパレス・福岡国際会議場・マリンメッセ福岡

#### ★JDDW 2023

会期：2023年11月2日(木)～5日(日)

場所：神戸、会場：神戸コンベンションセンター

※上記会期日程のうち、4日目(最終日)は教育講演のみとなります。

※JDDW 関連の更新内容(登録等)にご注意いただきますようお願いいたします。